



見どころポイント(山城ピクトグラム)

野面積

特におすすめ

野面積

見どころポイント(山城ピクトグラム)

野面積

特におすすめ

野面積

標高 301m

体力度 ★★☆☆

技術度 ★★☆☆

対象 初・中級者

駐車場 あり。バスの駐車可(中型可)

トイレ 里の店のトイレを利用

備考 登山道が整備されていて登りやすいです。

【観光案内】あおい情報ラウンジ TEL.0791-23-7113

概要

主な城主：赤松則祐
標高：301m
形態：連郭式山城(中世)

感状山城(かんじょうさんじょう)は、相生市矢野町瓜生(やのちやうりゅう)と矢野町森にまたがる標高301メートルの感状山(かんじょうさん)の尾根上に築かれた山城です。昭和60年度から3カ年をかけて行われた発掘調査の結果、建造物の遺構が多く発見され、曲輪(くるわ)群の全貌が明らかにされました。現在見られる総石垣構造の遺構は戦国期のものとされますが、当時の史料がなく、謎の多い山城です。眺望に優れ、壮大な石垣と曲輪群、礎石建物跡・井戸跡などが残り、盛時を偲ぶことができる播磨地方の代表的な中世の山城の遺構です。

【歴史】

感状山城の呼称は、建武3年(1336年)に赤松則祐が新田義貞の軍を防いだ功績により、足利尊氏から感状を賜ったことに由来するとされています(『播磨鑑』『播磨古城記』)。備前焼、中国産陶磁器など、豊富な遺物が出土しており、中に茶器や高級品が含まれています。遺物が示す年代観から、城の存続時期は15世紀から16世紀代と考えられています。城主については諸説ありますが、近年、浦上氏説が有力になっています。また、当初は寺院として造られた可能性も指摘されています。

発行：兵庫県西播磨県民局 県民躍動室 地域振興課
〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25 TEL 0791-58-2144

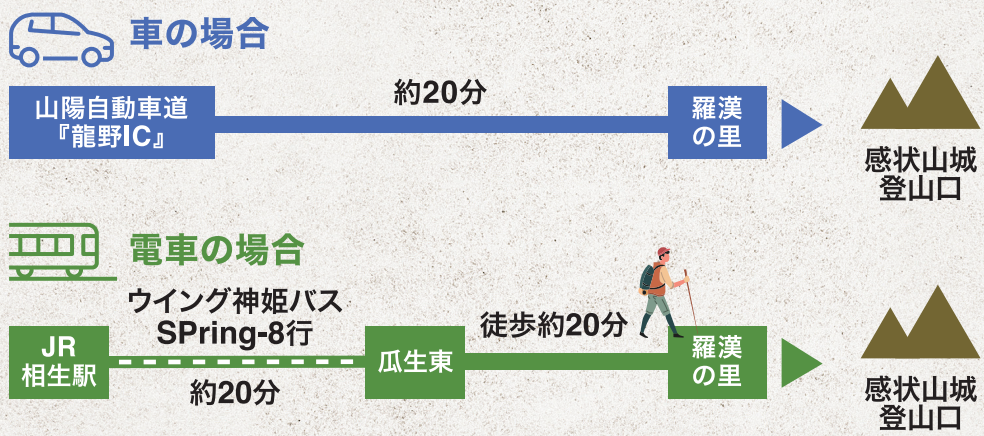


「中世播磨250の山城」(中世城郭研究家 木内内則)



感状山城遠景

登山口までのアクセス



登山の装備と持ち物チェックリスト(一例)

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。

服装

防寒着(冬期)

帽子

リュック

長ズボン(タイツ等)

トレッキングシューズ

靴下

手袋(車手等)

持ち物

タオル

着替用肌着

ゴミ袋

虫除けスプレー

雨具(カッパ等)

水・飲料

絆創膏

登山用ステッキ

西播磨の山城御城印

西播磨の山城イレブンの御城印を販売しています。佐用町の伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印もあります。

山城グッズ紹介一覧はこちら

感状山城

龍野山城

城山山城

尾上山城

坂越浦城

赤松山城

藤の丸城

長木城

石見丸

白旗城

利根城跡

上月城

在庫状況については各店にお問合せください。デザイン等、予告なく変更になる場合があります。

書籍「中世播磨250の山城」メジャー測量から見た歴史観

中世城郭研究家の木内内則(きうちただのり)氏が播磨の山城300箇所以上に登りメジャーで測量した結果をもとに、縄張り図や建物の復原図を描かれたものを掲載した山城マニア垂涎の図書。2018年に出版された内容に、西播磨の山城復活プロジェクトのために新たに描いた利神城(りかんじょう)、篠ノ丸城(ささのまるじょう)の想像復原図などが追加掲載された改訂版。

西播磨ツーリズム振興協議会

西播磨の山城

西播磨遊記

Instagram

X

You Tube

山で出会う危険なもの

山登りの事前知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

ヤマビル(6月～9月は特に注意)

●肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。

●咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。

●虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。

●吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。

スズメバチ(7月～10月は特に注意)

●攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。

●スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。

●刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。

下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。

毒蛇(マムシ・ヤマカガシ)

●藪や茂みに入らない。

●咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。

マダニ

●マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつか虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。

●肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。

●咬まれた時は自分で除去せず医療機関(皮膚科等)を受診しましょう。

●ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間様子を見て、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。

クマ

●クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。

●大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見せずに逃げないようにしましょう。

●子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように！

毒キノコ

●誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。

●外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。

●山でキノコは採らない、食べない!を徹底しましょう。

デングタケ

食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸炎化療の中毒症状が現れる。

ドクツルタケ

日本で見られる中では最も危険な部類の毒キノコ。誤って食べると、死亡することもある恐ろしいキノコです。

毒キノコ4原則

原則1 採らない!

原則2 食べない!

原則3 売らない!

原則4 人にあげない!